

上野株式会社 アンケート 20050205

図に表現し、理解するという習慣が身につけていけば、普段から割と目にすることも多いフローチャートも改めて自分で作成してみようとするとその難しさに、進まないということもなくなるのかと気づかされた。また、先生のキャリアを聞き、今、自分のいる位置というものを改めて考えてみたいという気持ちになった。自分のできること、やりたいことを常に考えてはいるつもりでも、つい日常の忙しさにまけて見失っていたように思うこのような気持ちになれた貴重なきっかけを与えてもらい、感謝している。

今までは考えついたことのなかった図に書くということは私にとってとても新鮮だった。これからは新しいことに試みようとするとき、壁にぶつかったときなど図に書いて一度整理してから、取り組んでいこうと思う。

講演を聞いた後、自分の仕事について図で表現しようと試みたが、なかなか表現できなかった。このような自分を改めて考えてみると、いかに日常の仕事について考えていないかがわかり、反省させられた。今後は少しずつでも考える癖をつけ、仕事に活かしていこうと思う。

先生が30代前半に感じていた「自分は仕事ができないのではないか。」という気持は今の自分も同じ様に感じている状況だ。図で考えることは簡単なようで難しい手法だなと思ったが、先生がこの手法で成功されたように、自分の少しでも取り入れられたらな、と思う。

今回の講義を聞いていて、自分がいかに物事を難しく考えていたかを知り、正直驚きを隠せなかった。よく考えれば、世の中では文章で説明するよりも、図説しているケースはとても多く、難しい内容の物も特に抵抗なく、簡潔に理解することができる。逆に言えば、それを自分が行えば、自分の顧客に対して、理解を得ることができ、サービスの向上につながる事ができるのだらうと感じた。早速自分なりに実践しようと思う。

講義を聞いて、違った角度から物事を見ようとした。私も仕事のことなどを図にしてみることで自分自身を見直すきっかけにしたいと思う。

今回の講演を聞き、「考える事」について、どうしたらよいのか。また、考えを導き出す方法を教えてもらえたと思う。今後何時でも、「理解」「疑問」「批判」の項目を書き、図で表し、意見、考えをまとめていこうと思う。これからの仕事(営業)に役立つ話だった参考になったのは「箇条書きはだめ」「仕事は問題を解くこと」「説得型 納得型へ」。

まず、一度自分を中心の仕事の図を書いてみようと思う。お客様と社内外に対してコミュニケーション能力が大切なのはわかっているが、お客様に対しては、自分中心、社内に対しては相手中心で考えているところがある。相手のニーズを受けて、自分の意見は明確に伝えないとコミュニケーションはとれていないと思う。もっと自分の人生、仕事を考える。図解により頭の中の整理が出来る。頭の中で考えているときよりも、具体的な対策等に明確になると感じた。非常に参考になった。

上野株式会社 アンケート 20050205

頭の中の整理は図を使うことも多かった。ただ、図から文章に直していた理由は特になく、なぜそうしていたのかはよくわからない。言われてみれば、図の方が関係がよくわかるし、手直しも簡単だ。今まで何も考えず、今までこうしていたからというだけでそれを続けていた。新しい世界が見えて楽しかった。

今回の講義は、現在自分自身が頭を使っていないことを非常に感じた。また、先生の話についていこうと脳がついていこうとしているのが、脳のあちこちが働こうと動き出そうとしているが、動かなく、頭葉疲れた。今回の講義で先生の話聞いて、非常に興味が湧いた。

上野の強みとは、お客様が決めることと、先生がおっしゃっていた事が印象に残った。今まで何度も営業課員で「上野の強み」について話し合ったりしていたときに、他の営業のことは解らないが、少なくとも自分はお客様の立場ではなく、上野の社員としての立場で強みについて考えていた。強みだけでなく、お客様の立場にたって物事を考えていない自分に気づき、何事もお客様の立場で物事を考えなければならぬと感じた。

先生の人柄に共感する人間は多かった。

大変勉強になった。ただ、全てを図解にするというのは、自分にとって難題だと感じた。たぶんそれは、何事も理解していないのではないかと、という自信のなさからきたのだと思う。だが、図解することによって本当に考える力がつくのなら、少しチャレンジしてみようかな、とも思った。

顧客満足とはお客様の声を聞く事からはじまり、現状を分析する時に、図を使用することで理解力が増し、解りやすくなる事を学んだ。物事を考える時に、使用させてもらう。

図で考えるというのは、「木を見て森を見ず」、図を書いて説明すると、一目瞭然で見えてくる。自分自身の仕事を図解してみようと思う。また部下にも同様に図解してもらいたい。図解思考を今後の仕事、人生に活かしたいと思う。

考えをまとめたり、問題点を整理するとき、図に書いてみると鳥瞰して物を見るようになってくる。また、理解することが楽になるような気がする。(三年前に「図で考える人は仕事ができる」を読み、今回の講演を聞いた感想)

今度一自分も含め、部下とも、図解にて討議をする時間を作って見たいと考える。そうすれば、説得でなく、納得しての組織活動促進が可能なように思われる。

上野株式会社 アンケート 20050205

先生の言葉1つ1つに感動を覚えると共に、図解で表現することの大切さや、面白さを知ることができた JAL、三菱自動車等の話を図にしているので、知らない会社だが、わかりやすかった 当社の会議の時、社長が図を書いて説明されていることと同じだと感じた

自分は、まさに、自分はなんて考える力がないのだろう、と実感しているところだった 論理的であろうとして、他人の考えの受け売りの間を堂堂巡りしてただけに過ぎなかったと思う 重要度、影響度の大小、それぞれの関係を明確にしながら考える習慣をつけることにする 論理的に考えるためのツール 図解思考最高だと納得できた

確かに、思考を図解することで、コミュニケーションの密度が高くなることがわかった 伝える側にとっても考える力がつき、理解する側にとっても、物事の全体が把握できるので、原因と結果を理解しやすい

我社でよく定量的という言葉聞いていたが、この言葉が全てではないことを知った 問題点を探すには有効的に思ったが、トレーニングが必要なのではないだろうか 是非これを身につけてよい結果を出したい

先生の講演を聞いて、大きな刺激をもらった 物の見方、考えかたが変わった気がする 公演中、常に、自分、会社、営業所、そしてお客様の事が頭の中を駆け巡っていた 我社は自分達にとって見晴らしの良い状態なのだろうか 強みが強みではなく、弱みになっていないか 互いの本音を出し合って部下と議論したい気持ちになった

お客様第一主義で、自分が考えていたことの「つながり」「重要性の大小」などの事柄がはっきりと目から入ってきた(理解、疑問、批判)またそのことから毎日変化しなければならない

自分の考える能力について、はっきりした指針を示すことが、今まで出来ていなかった 漠然としていたが、今回の講演を聴くことで、はっきりした これからは理解、疑問、批判に分けて考えていく そうしながら考える能力を高めていく

図に書いて考えると、自分の頭も整理され、筋道をたてて考えられる 我社営業の本年度の行動指針として図で書いて張り出しておいた「強みの発揮」が、お客様から見てどうなのかが大切だ、との指適で自分はよくわかったが、このあたりも我社営業がどの位わかったのかが心配だ 講義で渡された資料があまりに多すぎた

先生の講演を聞き、非常に共感できることがあった その内容とは何となくは理解しているが、図に表現することは、意外とできない事、その結果、相手に物事を伝えたり、自身が今の状況をしっかり認識した行動がぼやけてしまっているということだ 「仕事は問題解決である」という言葉が強く印象に残った 先生の講演には、日本航空時代の図解思考が実際にもたらした成果等が多く大変勉強になった